



市ヶ谷だより

法政大学
市ヶ谷キャンパス
教職課程センター
2022年11月号(10/19発行)

★公立学校 2次試験最終結果、4年間で最高の合格率達成

今年度は延べ45名が公立学校教員採用試験を受験し、36名が1次試験を突破しました(1次試験突破率は延べで80%)。実人員での1次突破率は38人中35人で92%の高率でした。

1次試験合格者のうち35名が2次試験に挑みました。10月17日に結果がほぼ判明しましたので、私立学校の結果と合わせ報告します。公立学校の合格者は31名です(期限付や補欠合格の5名含む)。現時点での2次試験の合格率は91.2%とこの4年間で最高の素晴らしい結果です。(1人未発表)

地道な努力が確実に成果となって表れています。1年間、採用試験対策の勉強に立ち向かい、合格した皆さんに心から拍手を送ります。市ヶ谷教職課程センターを活用していた受験生のうち、現時点での合格者数は以下のとおりです。

- 【東京都】8名(社会1名 英語3名 国語3(期限付2名含む) 小学校1名(期限付))
- 【山形県】国語1名 【神奈川県】2名(社会1名 国語1名) 【千葉県】5名(社会2名 国語3名)
- 【埼玉県】6名(社会4名 英語2名) 【さいたま市】社会1名(期限付)
- 【川崎市】2名(国語1名 英語1名) 【横浜市】3名(社会2名 国語1名) 【茨城県】社会1名
- 【愛知県】社会1名(補欠合格) 【福岡市】国語1名 【私立】英語1名

今月も、合格した先輩(東京都、英語)の体験談を掲載します。

私が教員採用試験の勉強を始めたのは、3年生の12月からでした。参考書を何度も読み、ノートに繰り返し専門用語を練習するなど、暗記する際に工夫をしました。教職教養については、学習指導要領、教育基本法、学校教育法をよく読み込み、瞬時に何条の何について述べているのか、空欄補充にまで対応できるように対策を進めておくことが大事かと思います。3月まではこれの繰り返しで、専門科目の学習を本格的に始めたのは4月からでした。過去問は繰り返し解き、分からない問題は友達と相談しながら解き進めました。専門科目は、教職課程センターの貸し出しテキストをコピーしながら、過去問に取り組みました。私は、専門科目の点数に伸び悩み、試験直前も5割ほどしか取れていませんでした。読解しにくい文章ばかりですが、英検で言えば、準1級から1級程度の単語なので、英検対策の参考書に載っている短い文章を繰り返し読むなどして学習を重ねることで力がついたと感じます。次に、小論文についてです。小論文は12月ごろから教職課程センターの先生にお世話になり、自分で論題を持ち帰り、執筆し、添削をお願いする工程を繰り返していました。2週間に1本は必ず小論文に取り組むことを心がけ、多いときは週に3本は書いていました。最初のうちは、論旨が論題に沿っておらず、起承転結がない論文でしたが、何度も練習していくうちに論文執筆の型が決まり、自分のスタイルで色々な論題に取り組むことが出来ました。



◆11月の教職課程センター 相談指導予定◆

事前申込制

	9:00~12:20	13:20~16:00		9:00~12:20	13:20~16:00
1(火)	個別相談	個別相談	17(木)	論文文対策講座 横浜市教採説明会	個別相談
2(水)	個別相談	個別相談	18(金)	教職教養対策講座	個別相談
8(火)	個別相談	論文文対策講座	22(火)	個別相談	個別相談
9(水)	個別相談	教職教養対策講座	24(木)	個人面接対策講座 川崎市教採説明会	個別相談
10(木)	論文文対策講座 神奈川県教採説明会	個別相談	25(金)	個別相談	個別相談
11(金)	教職教養対策講座 千葉県教採説明会	個別相談	29(火)	個別相談	個人面接対策講座
15(火)	個別相談	論文文対策講座	30(火)	個別相談	個別相談
16(水)	個別相談	教職教養対策講座	19日(土) 学校見学会(都文館夢学園)の参加者募集中		

★ 対策講座は対面を予定していますが、感染症の状況等によりオンラインでの実施となる場合があります

◎相談指導・各種講座やイベントのお申し込みは◎

教職課程センター(月~金9:30~17:30)に来室又はメール(kkc@ml.hosei.ac.jp)にて

[URL] http://www.hosei.ac.jp/kyoushoku_katei/

☎ 03-3264-5562